

資 料
新 着 資 料 の 紹 介
資 料 室

ソ連科学アカデミー水問題研究所編 (1970) : 「Изучение и использование водных ресурсов СССР (ソ連における水資源の研究と利用)」, ナウカ出版所, 189 p., 図21, 表12, 21.5 × 14 cm (露文)

目 次

- I. 国民経済各部門における水資源需要の研究 (21論文)
- II. 水資源の量と質に関する研究 (33論文)
- III. 水資源の量的再配分と質的再編成の原則に関する研究 (37論文)
- IV. 水塊の運動とその環境との相関関係に関する研究 (51論文)
- V. 水資源の総合利用システム構成法に関する研究 (21論文)

水問題研究所が1966年と1967年に行なった上記項目の研究結果をその担当者が1~2頁にまとめた論文集で, このような発表形式はソ連では珍しい。小項目での内容は多岐にわたり, わが国の関係者にとって示唆に富む内容であり, とくにIII~Vの研究は必見の部分であろう。

Б. Я. Розен (1970) : 「Геохимия брома и йода (臭素と沃素の地球化学)」, ネードラ出版所, 142 p., 図31, 表15, 文献 264, 21 cm × 15 cm (露文)

目 次

第1章 有機吸着剤・無機吸着剤による臭素と沃素の吸着

澱粉による臭素および沃素の吸着 コラーゲンによる臭素および沃素の吸着 腐植土による臭素および沃素の吸着 無機吸着剤による臭素および沃素の吸着に対する随伴イオンの影響 相対吸着

第2章 岩圏中の臭素および沃素

火成岩・堆積岩中の臭素および沃素 塩中の臭素および沃素 土壌中の臭素および沃素 泥中の臭素および沃素

第3章 雨雪・空気中の臭気および沃素

第4章 水圏中の臭素および沃素

水圏中のイオン-塩コンプレックスの特徴 湖水・海水中の沃素 地下水・地表水中の臭素および沃素 淡水中の臭素および沃素 飲水中の臭素および沃素

第5章 生物圏中の臭素および沃素

地表植物・淡水植物中の臭素 海棲植物中の臭素 動物中の臭素 地表植物中の沃素 海棲植物中の沃素 動物中の沃素

まとめ

この本はばらばらに扱われている文献のデータと著者が多年にわたって続けてきた実験的な研究の結果とを系統的にとりまとめ, 気圏・生物圏・水圏・岩圏における臭素と臭素の挙動について記述したものである。そして, 天然条件下における臭素と沃素の集積および分散の問題を地球化学的な観点だけでなく, 物理化学的な観点にも立って初めて明らかにした著作である。

К. И. Сатпаев 編 (1957) : 「Геология ленингорского и зырянковского рудных полей на Алтае (アルタイ地方レニノゴルスク鉱床田・ズイリャノフカ鉱床田の地質)」, 国立科学技術図書出版所, 371 p., 図87, 表56, 文献 213, 26.5 cm × 18 cm (露文)

目 次

Г. Н. Щерба : 「レニノゴルスク鉍床田の地質」, p 7 ~ 181

序言 研究概史 層序・堆積岩 変成層 シニュシャ山塊の花崗岩類とその岩脈系
デボン紀層 リデル層群 クリュコフカ層群 イリンスク層群 ソコルナヤ層群 ウ
スペンスク擾乱帯の岩石 エメインゴルスク貫入岩 第四系 構造地質とマグマ活動
構造地質 マグマ活動 変成作用と鉍化作用 古期岩層中の変成作用 デボン系岩層中
の変成作用 自変成過程 接触変成作用 熱水変成作用と交代作用 鉍化構造地質と後
鉍化構造地質 動力熱変成作用と鉍化変成作用 浅成変質帯 鉍石賦存性に関するデータ
成因問題 実用上の諸提言

К. Ф. Ермолаев : 「レニノゴルスク鉍床の鉍体の形態と生成条件について」, p. 185 ~ 209

А. К. Каюпов, В. А. Ким, Л. Г. Никитина, Е. А. Флеров : 「ズィリャノフカ多金属鉍床の地質」, p. 213 ~ 362

諸言 ズィリャノフカーブフタルマ区の地質構造 層序 貫入岩類 貫入岩類の生成期
と生成順序 構造地質 ズィリャノフカ多金属鉍床の地質 層序 石英斑岩と玢岩類
鉍床区域の貫入岩類 鉍床区域の構造地質 鉍床区域の柱状断面と多金属鉍床の地質構造上
の位置 鉍石概説 鉍床母岩の変質について 鉍体分布の基本的規則性 まとめ 結
言

Н. Л. Зенкевич (1970) : 「Атлас фотографий дна Тихого Океана (太平洋海底写真集)」, ナウカ
出版社, 135 p., 図 207, 文献17, 24 cm × 16.5 cm (露文)

目 次

太平洋海底の主要構造による微地形

海底写真とその説明

大陸棚 大陸斜面 クリルーカムチャツカ海溝北斜面 南アメリカ大陸斜面 海盆移過
帯 海盆 (北西海盆・北東海盆 I・北東海盆 II・中央海盆・東マリアナ海盆・南海盆・ペルー
海盆・チリー海盆) 海堆 列島斜面 環礁斜面 海嶺 海山 I 海山 II 海山
III

Э. В. Соболевич (1970) : 「Изотопы свинца в геохимии и космохимии (地球化学・宇宙化学
における鉛同位体)」, アトミズダート出版社, 349 p., 図37, 表74, 文献 476, 20.5 cm × 14 cm (露文)

目 次

第 1 章 分析法

1. 鉛・ウラン・トリウム微量分析法

鉛 ウランおよびトリウム

2. 抽出法

鉛の化学的分離法 鉛の熱化学的分離法 ルビジウム・ストロンチウム・⁸⁷Sr

3. 隕石中の鉛の定量

石質隕石の分析 隕鉄の分析

4. 鉛・ウラン・トリウムの抽出—ラジオメトリー—微量分析法

鉛の分析 抽出—ラジオメトリー法の限界 ウランの分析 トリウムの分析

5. 鉛同位体分析

第 2 章 鉛およびその同位体の分布状況

1. 宇宙の鉛・ウラン・トリウム分布状況

2. 隕石中の鉛含有量と鉛同位体組成

3. 地球中の鉛とその同位体の分布状況

4. 天然生成体中における鉛同位体の賦存形態
- 第3章 地質年代学における鉛同位体
 1. 絶対地質年代計算に対する鉛同位体の挙動の影響
 2. 鉛鉱物および放射性鉛物の絶対年代決定値の過不足
鉛鉱物 長石 放射性鉛物
 3. 岩石中の鉛同位体・ウラン同位体による岩石の絶対地質年代測定の可能性
 4. 岩石の鉛同位体絶対地質年代測定法
ウクライナ地方の最古期岩石 コラ半島とカレリア地方
 5. 火成岩試料の絶対地質年代基準としての現世鉛同位体組成
- 第4章 ソ連各地の岩石の鉛同位体データに対する放射線学的説明
 1. アルダン楕状地
イエングラ系結晶片岩 チンプトン系・ジェルツラ系岩石 イエングラ系花崗岩類
アルダン楕状地中央地区岩石の放射線学的特徴
 2. プリバイカル地方南西部
 3. コクチェタウ・エクロジャイト
 4. 新期岩石
テルスク アラータウ地方産およびアルタイ地方産試料 新期火山生成体中の鉛
- 第5章 隕石と宇宙年代学
 1. 隕石とその起源に関する諸情報
 2. 元素生成期
 3. 隕石の祖体の集結作用
 4. 金属相と珪酸塩相の生成期
 5. 隕石物質の同位体データによる初期生成史
隕鉄の太陽起源 地球ウランの生成期 核合成の時間 隕鉄の先太陽起源
- 第6章 テクタイトの同位体データによる生成時代と起源
 1. テクタイトの主な特徴
 2. 天然玻璃中のウラン・トリウム・鉛同位体の分布状況
 3. テクタイトの絶対年代
 4. テクタイトの起源に関するまとめ
- 第7章 同位体地球化学・同位体宇宙化学の諸問題
 1. 地殻とアッパー・マントルの相互関係
 2. 地圏の生成機構について
 3. 自然界におけるエカ鉛の存在可能性
 4. まとめ

В. М. Добрынин(1970):「Деформации и изменения физических свойств коллекторов нефти и газа (石油・天然ガス貯溜岩の物理的性質の変化と変形)」, ネードラ出版所, 239 p., 図62, 表21, 文献 155, 22 cm × 15 cm (露文)

目次

- 第1章 全面圧縮による貯溜岩の変形の理論的研究
 1. 貯溜岩の弾性変形と非可逆変形
 2. 貯溜岩の弾性と変形の理論
 3. 小孔隙中に鉱物を包有しない純粋均質貯溜岩の変形量決定用の基本微分方程式
 4. 小孔隙中に粘土を包有する均質貯溜岩の変形
 5. 単独小孔隙系を有する岩石の変形, 変形時における限界条件の計算

A. 単独小孔隙系を有する多孔質岩体

B. 恒温圧縮の限界条件下での均質開口小孔隙系を有する貯溜岩の変形

第2章 膠結貯溜岩の圧縮性の研究

1. 温度変化・全面圧縮時における貯溜岩の圧縮性その他の物理的性質の実験研究法
2. 貯溜岩固相の圧縮係数
3. 粒質貯溜岩の圧縮性の理論的研究成果
4. 多孔質一多割れ目質貯溜岩の圧縮性に関する理論的研究
5. 膠結貯溜岩小孔隙の圧縮性の実験的研究成果, 貯溜岩の圧縮性に対する飽和溶液の化学組成の影響
6. 貯溜岩の圧縮性に対する温度の影響
7. 貯溜岩の圧縮性の実験的測定における非可逆変形の役割

第3章 全面圧縮による弾性変形の結果としての貯溜岩の物理的性質の変化

1. 孔隙率
 - A. 有効応力, 層面圧力, 温度に規制された孔隙率の変化
 - B. 岩芯採取による孔隙率の弾性可逆変化
 - C. 石油・天然ガス採掘過程における貯溜岩の孔隙率の弾性可逆変化
2. 透水率
 - A. 有効応力, 層面圧力, 温度に規制された透水率の変化
 - B. 岩芯採取による透水率の弾性可逆変化
 - C. 石油・天然ガス採掘過程における貯溜岩の透水率の弾性可逆変化
3. 貯溜岩の密度
4. 比電気抵抗
 - A. 微分方程式の組み立て
 - B. 有効応力の影響下における可逆変形の結果としての岩石比抵抗の変化
 - C. 比抵抗値に対する岩石固相の変形の影響
 - D. 貯溜岩の比抵抗に対する温度の影響
5. 分散一吸着能
6. 岩層の弾性率

第4章 自然凝集作用による非可逆変形の結果としての貯溜岩の物理性の変化

1. 分布深度による堆積岩の孔隙率
 - A. 孔隙率の変化における一般傾向の解析と微分方程式の組み立て
 - B. 探さと純粋石英質砂岩の孔隙率の変化
2. 陸生層の探さによる透水率の変化
3. 堆積岩の密度の非可逆変化

第5章 弾性バランス法による石油の埋蔵鉱量計のための貯溜岩の弾性の利用

1. 天然ガス層を欠く油層の弾性バランス方程式
2. 粒空隙型貯溜岩中の石油埋蔵量計算への弾性バランス法の適用
3. 割れ目型および割れ目一空洞型貯溜岩中の石油埋蔵量評価の特徴

И. И. Малышев (1957): 「Закономерности образования и размещения месторождений титановых руд (チタン鉱床の生成・分布の規則性)」, 国立科学・技術図書出版所, 272 p., 図1, 表11, 文献 242, 23 cm × 15.5 cm (露文)

目次

第1章 チタンの諸性質と工業上の価値

諸元 チタン工業発達概史 チタンの諸性質とその用途 金属チタン製錬技術

第2章 チタン地球化学の基本的特徴

各種岩石コンプレックス中のチタン分布 マグマ源岩石中のチタン分布 外因性生成体中のチタン分布 変成岩コンプレックス中のチタン分布 チタン鉱物とその生成条件 造岩鉱物のチタン含有量 まとめ

第3章 可採チタン鉱床の成因的分類と経済価値

チタン鉱床の価値を決める主な要素 可採チタン鉱床の成因的分類 可採性チタン鉱床中のチタン鉱物含有量と鉱量について

第4章 重要岩石(母岩) —はんれい岩質マグマの分化岩—の成因と生成順序について

マグマからの鉱物晶出順序の原因に関するローゼンブッシュの法則について はんれい岩質マグマからの各岩石生成順序に関する見解について マグマ分化作用の問題に関する F. Yu. レビンソン—レーシングの見解 デネシュキン—カーメニ山塊を例としたマグマ分化作用の問題 マグマ分化作用の問題に関するボーエンの見解について マグマ分化作用の問題に関する Ye. A. クズネツォフの見解について マグマ分化作用の問題に関する A. H. ザバリツキーの見解について 灰長岩の成因論について 堆積岩コンプレックス源変成生成体とするはんれい岩質岩に関する見解について まとめ

第5章 マグマ分化チタン鉱床生成作用の規則性

マグマ分化チタン鉱床生成作用に対する見解略述 マグマ分化鉱床生成作用の主な規則性 はんれい岩質マグマ貫入コンプレックスと分布・成因上関連あるチタン鉱床 はんれい岩中のチタン鉱床 はんれい岩—輝緑岩からなる小貫入はんれい岩質岩中に 胚胎された高品位チタン磁鉄鉱鉱床 超塩基性岩中に 胚胎されたチタン磁鉄鉱 およびチタン鉄鉱—チタン磁鉄鉱の鉱床 灰長岩中の鉱床 アルカリ岩コンプレックスと分布上・成因上関連あるチタン鉱床

第6章 外因性チタン鉱床生成作用の規則性

風化残留鉱床と漂砂鉱床 現世海浜砂鉱床(オーストラリアの海浜砂鉱床, インドの海浜砂鉱床, ブラジルの海浜砂鉱床, フロリダ州の海浜砂鉱床) 古期海浜砂鉱床(ウクライナ共和国ドニエプル河中流地域チタン鉱床域, ザウラル地方チタン鉱床域) 粘土とボーキサイト中のチタン含有量について

第7章 変成源チタン鉱床生成作用の規則性

変成チタン鉱床 被変成チタン鉱床

第8章 チタン鉱床分布の主な規則性

マグマ分化鉱床 外因性鉱床 変成源鉱床

第9章 ソ連のチタン鉱床生成区の主な特徴

バルチック楯状地南東部(コラ半島とカレリア地方)チタン鉱床生成区 ウクライナ楯状地チタン鉱床生成区 ソ連東部チタン鉱床生成区

第10章 外国のチタン鉱床生成区の主な特徴

北アメリカのチタン鉱床生成区 カナダ楯状地縁辺チタン鉱床生成区 北アメリカ中央安定域縁辺造山帯チタン鉱床生成区(ロッキー山脈, コロラド高原, 太平洋縁部地区) 太平洋沿岸平野・メキシコ湾チタン鉱床生成区 太平洋造山帯チタン鉱床生成区 南アメリカのチタン鉱床生成区 アフリカのチタン鉱床生成区 南アフリカ・チタン鉱床生成区 西アフリカ—北西アフリカ・チタン鉱床生成区 北東アフリカ・チタン鉱床生成区 マダガスカル島チタン鉱床生成区 アジアー—オーストラリア・チタン鉱床生成区 ヨーロッパ大陸チタン鉱床生成区 スカンジナビアー—バルチック・チタン鉱床生成区 ピレネー半島チタン鉱床生成区 まとめ

A. A. Соколов, А. И. Чеботарев (1970): 「Очерки развития гидрологии в СССР (ソ連水理学の進歩)」, 水理・気象図書出版所, 310 p., 図23, 写真16, 表9, 文献580 (露文)

目次

第1章 国立水理研究所の設立とその主な発展期

1. 中央水理研究機関設立の前提
2. 国立水理研究所の設立
3. 国立水理研究所の構成
4. 国立水理研究所の主要活動期
5. 国立水理研究所の設備
6. 水理学会総会

第2章 水理観測ステーション網の発展

1. 観測網整備政策
2. 観測網の統一とその合理化第一次計画
3. 基点気象水象観測網計画
4. 1946年以後の河川観測網の発展
5. 湖沼・ダム水理観測点網
6. 蒸発状況の観測
7. 流量観測所と実験基地
8. 水理観測作業法開発テストのまとめ
9. 観測網の現状と問題

第3章 調査研究と踏査

1. 1920~1930年の調査研究
2. 大祖国防衛戦争後の調査研究

第4章 国内水象観測機器製作の整備

第5章 ソ連の河川台帳

第6章 流文学の進歩

1. 流量基準と水量バランスの研究
2. 時代別・地域別年流水量の変化
3. 年間流水量分布
4. 最大流水量の計算と最大降水量・春季洪水量水理図形式の計画
5. 最小流水量
6. 水理条件パラメータ計算の凡例

第7章 水理予測

1. 概説
2. 降水条件要素の予測
3. 氷河条件要素の予測

第8章 水理物理学的研究

1. 河川の冬季条件と氷結現象
2. 河川・湖沼・土壌表面からの蒸発
3. 積雪分布と融雪過程
4. 周辺媒体と水の熱交換

第9章 流水の力学と河川作用

第10章 水理化学的研究

第11章 水理の地形学的諸問題

1. 水理学の方法論的諸問題
2. 河川の分類と水理区分
3. 水理図図化理論の諸問題
4. 経済地理的要素の流水に対する影響の研究

結言

第2回全ソ岩石学会報告(1960):「Магматизм и связь с ним полезных ископаемых (マグマ作用とその有用鉱物資源との関係)」, 国立地質科学技術図書出版所, 782 p., 27 cm × 18.5 cm (露文)

目次

岩石学の一般問題

- X. M. Абдуллаев: 中央アジアのマグマ作用とその鉱床生成区, p. 11 ~ 21
- Д. С. Коржинский: マグマ作用と後マグマ作用の主要要素としての酸性度—アルカリ性度, p. 22 ~ 30, 図2, 文献12
- В. А. Николаев: 天然系の相に対する不均一加圧による諸過程の岩石成因的意義について, p. 31 ~ 40
- Г. Д. Афанасьев: 岩石の絶対地質年代研究の地質学的意義, p. 40 ~ 51, 表3
- Э. К. Герлинг, А. А. Полканов: パルチック楕状地先カンブリア系絶対地質年代の諸問題, p. 52 ~ 53
- В. П. Петров: 岩石研究法発展の見通し, p. 53 ~ 62, 文献41
- Казимир Смуликовский: 花崗岩類の成因的 분류の諸問題, p. 62 ~ 67, 図1, 文献2
- Н. П. Семенов: 変成岩と変成作用の成因的 분류, p. 67 ~ 93, 表5

- Ю. А. Кузнецов : マグマ岩系の構造地質学的配列の主な規則性と分類, p. 93 ~ 103, 文献24
- Ю. М. Шейнманн : 褶曲帯のマグマ作用進化の諸特徴, p. 104 ~ 111, 文献10
- Ю. И. Половинкина : ソ連におけるマグマ作用発達の地質学的特徴, p. 111 ~ 116, 表 3
- К. О. Кратц : 先カンブリア紀の花崗岩生成作用とパリンジェネシスの諸問題およびそれと関連した内因性鉍化作用, p. 116 ~ 119
- А. П. Лебедев : 混生現象・同生現象と卓状地性マグマ作用におけるその役割, p. 119 ~ 122
- И. М. Исамухамедов : 岩石の生成における同生作用の役割, p. 122 ~ 135, 文献 4
- В. А. Кузнецов : 褶曲地域におけるマグマ作用発達の諸規則性, p. 135 ~ 138, 表 1, 文献 3
- С. П. Родионов : ウクライナ地方チャーノツカイトの成因, p. 139 ~ 142, 文献 8
- Ф. Н. Шахов : 花崗岩質マグマと鉍床の起源について, p. 142 ~ 150, 文献20
- В. А. Масленников : 花崗岩晶出過程の物理化学的特徴, p. 150 ~ 153, 図 1
- 「岩石学の一般問題」分科会討論, p. 154 ~ 162
- マグマ作用と鉍化作用の關係に関する諸問題
- В. С. Коптев-Дворников, Ив. Ф. Григорьев, Е. И. Доломанова, Л. В. Дмитриев, Е. В. Негрей, О. С. Полквой, М. Г. Руб, И. Е. Сморгков, Ф. К. Шипулин : 花崗岩系浅所貫入体, 同岩体中の微量成分の挙動, その鉍化作用との成因的關係, p. 165 ~ 194, 表 3, 文献24
- Н. Г. Судовиков : 花崗岩と鉍化作用の關係に関する諸問題, p. 195 ~ 204, 文献14
- В. П. Петров : マグマ作用と有用非金属資源の關係およびその理論上・実用上の意義, p. 204 ~ 211
- М. Б. Бородаевская : 含金マグマ岩系の岩石形成上の諸特徴とそれに関連するソ連金鉍床の形式, p. 211 ~ 220
- М. А. Фаворская : 噴出岩岩系と内因性鉍化作用の相互關係に関する問題に寄せて, p. 221 ~ 229
- Г. С. Дзоценидзе : 有用鉍床生成作用における噴出火山作用の役割について, p. 229 ~ 238, 文献25
- И. Г. Магакьян, С. С. Мкртчян : マグマ作用と鉍化作用の成因的關係, p. 238 ~ 248, 表 2
- Е. Kautsch : ドイツ民主共和国におけるペルム紀マグマ作用とそれと關係ある有色金属鉍床の生成作用について, p. 248 ~ 251
- Страшимир Димитров : ブルガリアのマグマ作用の発達とそれと關係した金属鉍床の分布について, p. 251 ~ 259, 図 1, 表 1, 文献17
- Е. Д. Карпова : 南天山地方構造帯中の貫入岩コンプレックスと鉍床, p. 259 ~ 272, 表 3, 文献 5
- Р. Б. Баратов : タジック地方中央部のマグマ作用と鉍床分布の諸特徴, p. 272 ~ 284, 表 1, 文献47
- А. Б. Баталов : 中央アジアにおける貫入岩コンプレックスと接触交代磁鉄鉍床の随伴形式, p. 285 ~ 287
- Х. Н. Баймухамедов : ジラブラクージアエダ山のマグマ作用と鉍化作用, p. 287 ~ 290
- Р.Н. Абдуллаев, Ш. А. Азизбеков, М.А. Кашкай, М. А. Мустафабейли, Э.Ш. Шихалибейли : アゼルバイジャン共和国のマグマ作用と鉍床分布, p. 291 ~ 302
- Г. А. Твалчредидзе : カフカス地方マグマ作用輪廻各段階での マグマ岩系と鉍石 フォーメーションの生成・分布の規則性, p. 303 ~ 307, 表 1, 文献 7
- Е. А. Радкевич : マグマ作用と錫鉍床, 錫一多金属鉍床, 多金属鉍床との關係について, p. 307 ~ 311
- М. П. Материков : 錫石一硫化物鉍床と貫入岩との結びつき形式における若干の差について, p. 311 ~ 314, 文献 4
- О. С. Грачева : マグマ作用と内因性鉍化作用の關係, p. 315 ~ 317
- Ф. К. Шипулин : 沿海州南東部とルードヌイ・アルタイ地方ズィリャノフカ区における貫入岩と鉍床の形成史にみられる共通性, p. 317 ~ 322, 表 1
- М. Г. Руб, Я. Д. Готман : 貫入岩と鉍化作用の關係について, p. 322 ~ 328, 図 2, 文献16
- А. М. Калик : 火山岩と錫鉍化作用との成因的關係について, p. 328 ~ 332

- Т. Н. Иванова : 地殻活動帯の下部古生代マグマ作用発達の規則性, p. 332 ~ 335
- И. Я. Некрасов : ポルウスヌイ・セレンナヤフ両山脈の貫入岩コンプレックスとその鉱体埋蔵性, p. 335 ~ 337
- А. И. Ежов : Мунгелу-花崗岩山塊とシャルギヤ・モリブデン鉱床の成因的關係, p. 337 ~ 340
- Л. Н. Овчинников, Н. Д. Знаменский : 接触交代鉱床を伴うウラル地方の花崗岩類貫入岩について, p. 340 ~ 343
- П. Ф. Иванкин : ルードヌイ アルタイ地方とカルバ地方のマグマ作用と鉱床の生成, p. 343 ~ 349
- Л. В. Таусон : マグマ分化過程の指標としての稀有元素, p. 350 ~ 353, 表 2, 文献 3
- И. Е. Сморгчов : クラミンスク山脈貫入岩中の稀有元素 (U, Th, Y, TR) の分布の特徴, p. 354 ~ 357, 表 1
- Г. Е. Нарвайт : Чатилкурри鉱床田 (カザフ共和国) の花崗岩類, 変質母岩, 鉱石中の微量元素, p. 357 ~ 360
- А. В. Рабинович : 各種金属鉱床帯の花崗岩類中の副成鉱物分布の規則性, p. 361 ~ 363
「マグマ作用と鉱化作用の關係に関する諸問題」分科会討論, p. 364 ~ 388
超塩基性岩, キンバーライトおよびそれらと有用鉱物資源との關係
- Н. А. Елисеев : コラ半島含ニッケル超塩基性岩・塩基性岩の岩石学と鉱床の生成, p. 391 ~ 394
- Т. Н. Иванова, Е. К. Козлов : Мончеголск深成岩体塩基性岩の水平方向の分化について, p. 394 ~ 398, 表 2
- В. Ф. Морковкина : 変成源はんれい岩の特徴, p. 399 ~ 402
- С. В. Москалева : Урал地方はんれい岩質岩・超塩基性岩の成因について, p. 402 ~ 405
- Д. С. Штейнберг : 新データによるウラル地方塩基性岩, 超塩基性岩の生成に対する変成作用の役割, p. 405 ~ 408
- А. Ф. Михайлов : コリヤーク・カムチャツカ褶曲区北部の超塩基性岩系の地質の諸特徴, p. 409 ~ 412
- Ю. Е. Молдаванцев : 樞ウラル地方貫入マグマ作用分布の特徴, p. 412 ~ 415, 文献 4
- Ли Пу : 中国の超塩基性岩山塊に関する問題, p. 415 ~ 417, 文献 1
- А. А. Меняйлов : キンバーライト質マグマ, Трупп岩質マグマ, およびそれと關係ある鉱物コンプレックス-ダイアモンドとその随伴鉱物, p. 418 ~ 420, 文献 10
- М. И. Рабкин : シベリア卓状地北部 (オレネク川盆地) のキンバーライトとその成因問題, p. 420 ~ 423
「超塩基性岩, キンバーライトおよびそれらと有用鉱物資源との關係」分科会討論, p. 424 ~ 427
アルカリ岩およびそれと關係ある稀有金属鉱床
- О. А. Воробьева : 霞石アルカリ岩の主なタイプ, その生成期, 鉱化作用の特徴, p. 431 ~ 436, 文献 9
- Ю. М. Шейнманн : 大陸大型地質構造とアルカリ・マグマ岩系との關係, p. 436 ~ 446, 文献 16
- А. И. Гинзбург : 各種貫入岩コンプレックスと成因的に關係ある稀少金属鉱床のタイプ, p. 446 ~ 451, 表 1
- Н. А. Волотовская : カレロ・コラ超塩基性岩・アルカリ岩・カーボナタイト岩石区, p. 451 ~ 454
- А. А. Кухаренко, М. П. Орлова : コラ半島下部および中部古生代超塩基性・塩基性岩コンプレックスの岩石学的諸問題, p. 454 ~ 457
- Г. П. Багдасарян, А. И. Адамян, Т. Ш. Татевосян : アルメニア共和国のアルカリ火成岩, p. 457 ~ 460
- В. К. Монич : カザフ共和国のアルカリ火成岩, p. 460 ~ 463
- М. П. Кортусов : Кзнесекий Арату Northwest 部の含霞石岩について, p. 463 ~ 465, 文献 6
- Ю. Б. Лавренев, Л. К. Пожарицкая : 東サヤン地方のカーボナタイト, p. 466 ~ 468

- Е. Л. Бутакова, Г. Г. Моор: シベリア卓状地北縁の超塩基性岩・アルカリ岩とそれらの成因的相互関係, p. 469 ~ 471
- А. С. Павленко: 東ツバー地方アルカリ・コンプレックスの岩石学的・鉱床分布的諸特徴, p. 471 ~ 472
- Е. А. Нечаева: ザバイカル地方のアルカリ花崗岩類, p. 472 ~ 474
- И. Д. Царовский: マリウボライト化作用とそれに関連ある鉱化過程, p. 475 ~ 478, 表 1
- Е. В. Свещникова: エニセイ山脈北タートル山塊アルカリ岩の稀有金属鉱化作用の地球化学的諸特徴, p. 479 ~ 481
- Б. И. Злобин: サンドィク山貫入岩体を例とするアルカリ・マグマの分化作用の諸問題, p. 481 ~ 488, 図 3, 文献 11
- Г. В. Андреев: アルダン楕状地中央型コンデルスク貫入岩, p. 488 ~ 490
- И. А. Петерсилье: ヒピナ, ロボゼロ, モンチェゴルスク各貫入岩体の炭化水素ガスと瀝青, p. 490 ~ 491
- 「アルカリ岩およびそれと関係ある稀有金属鉱床」分科会討論, p. 492 ~ 504
変成作用と交代作用の問題およびそれと有用鉱物資源の関係
- В. А. Жариков: スカルン鉱床生成時におけるマグマ分化期と後マグマ期の反応現象, p. 507 ~ 522, 図 7, 文献 5
- И. Н. Говоров: 石灰岩およびそれを貫く花崗岩のグライゼン化作用, p. 522 ~ 530, 図 2
- В. А. Соколов: 鉱物の pH 比較法による交代過程の研究, p. 530 ~ 533, 表 1
- Я. Н. Белевцев, А. И. Стрыгин: クリボイログ鉄鉱の深成交代生成体の分類と成因, p. 533 ~ 542, 表 3
- В. Д. Ладиева, А. А. Макухина: ウクライナ楕状地含鉄珪岩系凝灰源噴出岩の変成度, p. 543 ~ 544
- Н. И. Половко: ウクライナ楕状地含鉄珪岩の変成度, p. 544 ~ 547
- Г. В. Жуков, Р. И. Сироштан: ウクライナ楕状地含鉄珪岩系アルモ珪酸塩岩の変成度, p. 547 ~ 549
- Л. А. Мирошниченко: 中部カザフ地方の各期マグマ作用における礫素交代作用, p. 549 ~ 551
- Б. Я. Меренков: 超塩基性岩の変成とその中における非金属鉱床の生成規則性, p. 552 ~ 554
- П. П. Смолин: ブルーサイト大理石の成因タイプと苦灰岩の変成進化中におけるその位置, p. 554 ~ 558, 図 1, 文献 10
- М. А. Лицарев: 苦灰岩とアルモ珪酸塩岩の接触部における交代異常構造のタイプと其中における金雲母の位置, p. 559 ~ 662, 図 1
- Г. Н. Вертушков: ウファレイ花崗岩山塊東部接触帯産含鉄珪岩の花崗岩化作用, p. 562 ~ 564
- С. Н. Иванов: ウラルに例をとった硫化鉄鉱床の母岩火山源層の変成問題, p. 565 ~ 567
- И. В. Бельков: キーエフ累層群の地質とキーエフ鉱床の成因, p. 568 ~ 572, 表 1
- А. К. Каюпов, А. Е. Шлыгин: ルードヌイ・アルタイ地方多金属鉱床における高温交代現象, p. 572 ~ 575, 文献 4
- Т. Ч. Челпанкулов: 中部カザフ地方の二次珪岩の問題, p. 575 ~ 579
- А. М. Кузьмин: クズネツキー・アラタウ地方接触交代生成体の生成順序, p. 579 ~ 580
- А. М. Виленский: スリタンウイズダーク山脈中央部のマグマ作用と変成作用, p. 580 ~ 584, 文献 11
- М. С. Безсмертная, Д. И. Горжевский: ルードヌイ・アルタイ地方多金属鉱床の鉱体周辺の変質, p. 584 ~ 586, 表 1
- 「変成作用と交代作用の問題およびそれと有用鉱物資源との関係」分科会討論, p. 587 ~ 599
地域別岩石学の新データ
- Д. Н. Елютин, В. И. Кнауф, А. А. Конюк, И. В. Носырев, К. Д. Помазков: 天山山脈北部の

貫入岩コンプレックス, p. 603 ~ 619, 表 1

В. И. Буданов, И. М. Державец, А. М. Месхи, А. И. Проскурко : パミール高原東部の貫入岩地質に関する新データ, p. 620 ~ 622

Н. Д. Соболев : カフカス地方北部新第三紀貫入岩の岩石学, p. 622 ~ 634, 図 1, 表 5, 文献 10

А. Д. Каленов : モンゴール東部中生代貫入岩の新データ, p. 634 ~ 636

М. Х. Хамидов : 中央アジア南部の中生代—新生代マグマ作用と鉱化作用, p. 637 ~ 649, 表 1

М. Л. Лурье, В. Л. Масайтис : シベリア卓状地のマグマ作用, p. 649 ~ 652

И. В. Белов : プリパイカル地方の新期マグマ岩系と火山輪廻の問題, p. 653 ~ 656, 表 1

Е. К. Мархинин : クリル列島における火山活動発達期, p. 656 ~ 659

В. Ф. Беспалов : カザフ共和国中部のヘルシニアン・マグマ作用, p. 659 ~ 662, 図 1

К. И. Дворцова : カンドイクタス山とザイリースク アラタウ西分嶺の貫入岩コンプレックス, p. 662 ~ 665

Г. В. Пинус : アルタイ・サヤーン褶曲区カレドニア期褶曲層初期発達段階のマグマ活動, p. 665 ~ 668, 文献 11

Л. В. Дмитриев : ベトパクーダラ花崗岩類の分化作用と混成作用の岩石化学的特徴, p. 668 ~ 669

А. А. Пронин : ウラル地方の構造・深成マグマ岩形成の主要期, p. 670 ~ 672, 文献 1

В. М. Сергиевский : ウラル地方のマグマ作用と鉱床の分布, p. 672 ~ 684, 表 1

А. М. Даминова : タイムイル半島におけるマグマ活動とそれに関連する内因性鉱化作用の地質学的規則性, p. 684 ~ 688

Л. Г. Бернадская : ウクライナ共和国の古生代火山作用, p. 689 ~ 691

И. С. Усенко : ウクライナ楕状地の花崗岩, p. 691 ~ 695

К. А. Щуркин : 白海北西部始生代のマグマ活動, p. 696 ~ 699

Т. М. Мацокина-Воронич, Ф. Ш. Раджабов : チャルトカル—クラミンスク区の岩石学的・鉱床成因論的諸特徴, p. 699 ~ 701

К. Л. Бабасев : 中央アジアの花崗岩ペグマタイトの諸特徴, p. 701 ~ 706

Г. Л. Поспелов : 貫入岩の形態的累帯構造について, p. 706 ~ 709, 文献 2

Г. М. Заридзе : カフカス地方の交代岩脈について, p. 709 ~ 715, 文献 8

Ф. Р. Апельцин : ソ連北東区含金帯の小貫入岩岩系, p. 715 ~ 718

О. П. Горьковой : クラミンスク山脈の輝緑岩質岩脈とその後マグマ性鉱化作用との関係, p. 718 ~ 720

А. Я. Булынников : クズネツク・アラタウ地方とサライル山脈の小貫入岩・岩脈状岩およびそれらと関係ある鉱床, p. 720 ~ 723

「地域別岩石学の新データ」分科会討論, p. 724 ~ 732

岩石・造岩鉱物研究法

А. С. Марфунин : 長石の結晶構造変態の光学的研究法, p. 735 ~ 740, 表 1, 文献 10

Б. П. Беликов : 岩石の弾性, p. 740 ~ 745, 表 1

Б. В. Залесский : 岩石の重要な物理的性質の一つとしての孔隙率, p. 745 ~ 749, 表 5

Ю. А. Розанов, И. С. Делицин : 岩石の構造に対する高压の影響, p. 750 ~ 752

Ф. Н. Ефимов : マグマ分化岩, 変成岩の感磁性とその鉄磁性鉱物含有量の量的関係との研究, p. 752 ~ 755

М. А. Савул, А. В. Барбю : マグマ源石英結晶中の液体包有物を有する面の岩石構造的意味, p. 755 ~ 761, 図 7, 文献 6

Х. М. Абдуллаев : 第 2 回全ソ岩石学会総会のまとめ, p. 761 ~ 769

第 2 回全ソ岩石学会総会決議, p. 773 ~ 777